

知・徳・体のバランスのとれた心豊かで創造性に富む生徒の育成

～校訓（至誠・勤勉・自治）が象徴する伝統を継承するとともに、主体的に学び、未来を共に創ろう～

# ひゅっかりょうらん 百花繚乱

発行:古河市立三和中学校

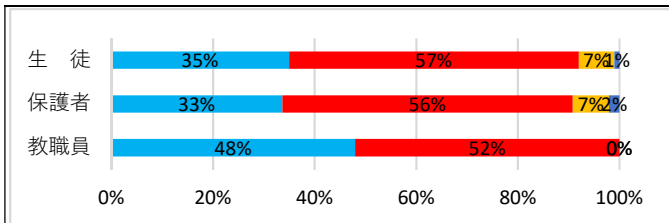
発行日:令和6年7月16日(火)

H P:sanwa.koga.ed.jp/

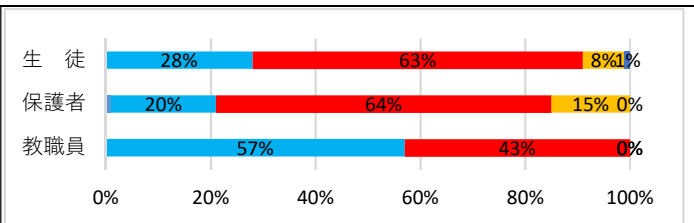
## ～令和6年度第1回学校評価アンケート結果の比較・分析～

令和6年度第1回学校評価へのご協力ありがとうございました。学校評価は、本校教職員による自己評価に加えて生徒と保護者からの評価を併せて、今年度前半の教育活動全般について振り返り、後半の取組へ広く生かしていくために実施するものです。集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。いただいたご意見を基に、活気ある学校づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

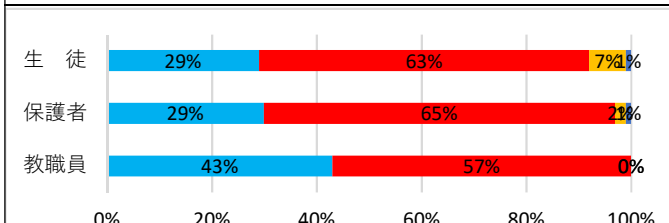
〔凡例〕青:とてもそう思う、赤:そう思う、橙:そう思わない、紺:全くそう思わない ※保護者アンケートの「わからない」は反映させず。



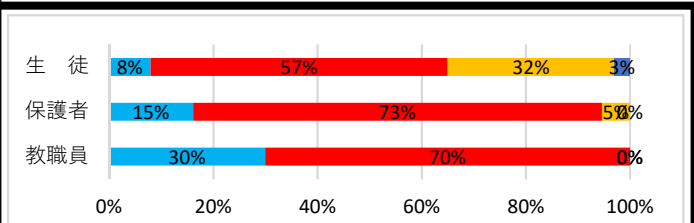
【No.1 学校生活】92%の生徒が「学校が楽しい」と肯定的に回答し、昨年度より向上しています。校内フリースクール（校内名：カンファレンスルーム）の開設・運用や教育支援センターとの連携、スクールカウンセラーによる教育相談の実施、複数教員によるチーム対応が成果をあげています。



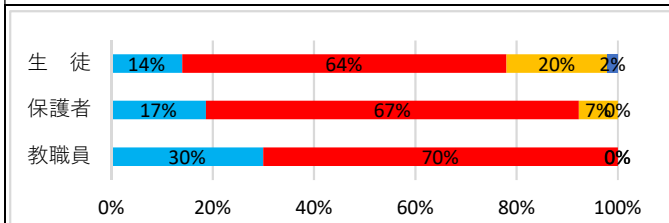
【No.2 基本的な生活習慣】91%の生徒が「あいさつや時間の意識を持ち、習慣化している」と肯定的に回答しています。教師のかかわりが「守らせる」から「考えさせる」に深化し、日常の問題を自分たちで解決させる意識の高揚を図っているためです。学習の基盤となる生活習慣の確立に向け、引き続き保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



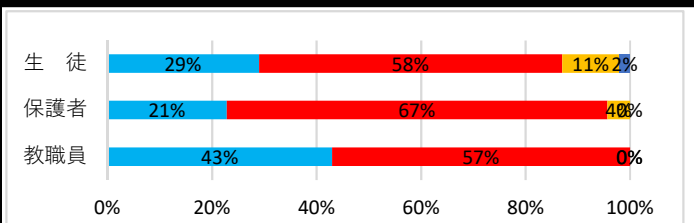
【No.3 自己管理能力】92%以上の生徒が「感情的にならず友達と仲よく生活している」と肯定的に回答しています。今回調査では保護者の肯定的回答が増加しました。思春期にある中学生が自分の感情をコントロールする力を身に付けることは発達課題の一つです。学校では「共感」と「受容」を大切に、引き続き生徒支援の充実に努めます。



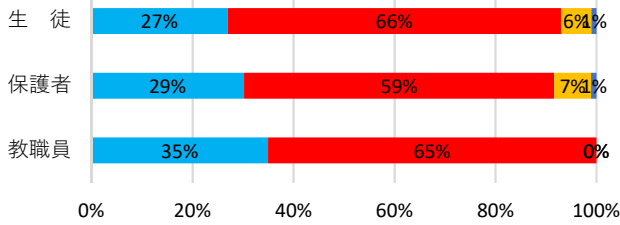
【No.4 自己有用感】65%の生徒が「自分のよさを理解し、役割を果たしている」と肯定的に回答していますが、中学生にとって自分の長所の自覚は難しい面もあるようです。生徒会スローガン「百花繚乱～全員で咲かせ笑顔の花～」を念頭に、学校行事等においてよさや可能性の発揮を目指します。そして、生徒主体の学校を目指します。



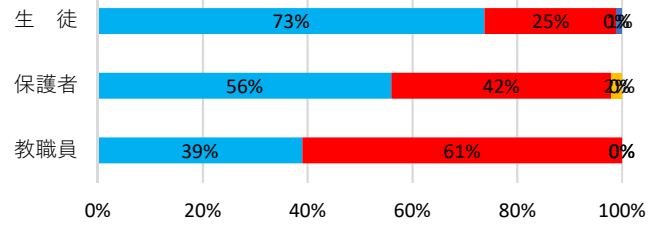
【No.5 他者との協働】78%の生徒が「意見の対立や理解の相違を解決し、他者と協働している」と肯定的に回答しており、昨年度より向上しています。体育祭における生徒の団結はこの数字を裏付けていると思います。学校では、生徒の協働意欲や協調性を伸ばす観点から、教職員の言動に留意し範を示す姿勢を大切にしていきます。



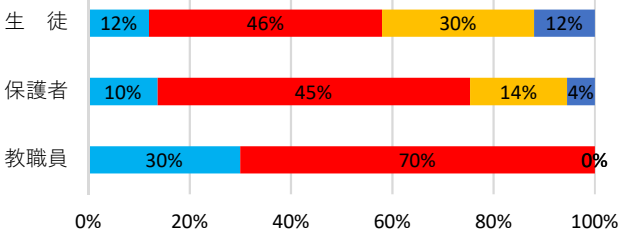
【No.6 学年集団】87%の生徒が「互いを認め合い、助け合って生活している」と肯定的に回答しています。また、保護者の肯定的回答も増えました。引き続き、関係諸機関とも連携しながら、学年担当職員が複数の視点を大切にチームで支援策を考え、スモールステップを踏んで対応していきます。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



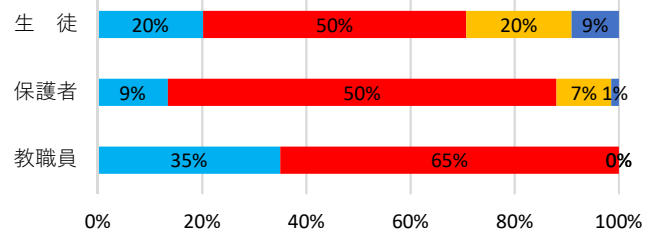
【No.7 規範意識】93%の生徒が「きまりを守って生活している」と肯定的に回答しています。学校では、制服の変更に伴う生活のきまりの見直しを進めるとともに、「なぜきまりがあるのか」「なぜ守らなければならないのか」の指導を大切にし、情報モラル（インターネット利活用）を含めた生徒の規範意識の高揚に努めています。



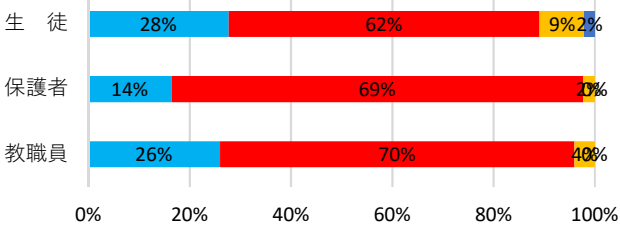
【No.8 安全意識】98%の生徒が「ヘルメットをかぶり、交通安全を意識して登下校している」と肯定的に回答しています。しかし、飛び出し等、地域の方から注意喚起のお電話をいただくこともあります。部活動後の巡回等、交通事故防止に向け学校でも努力いたしますので、ご家庭においても交通事故防止に向けた声かけをお願いいたします。



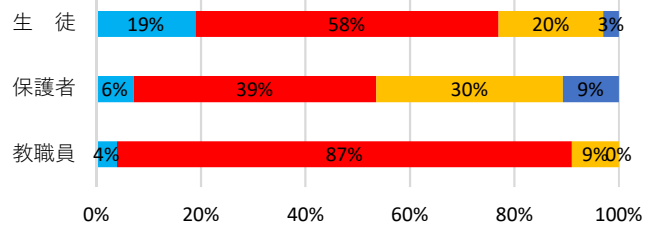
【No.9 教育相談】58%の生徒が「困ったり悩んだりした時に先生に相談している」と肯定的に回答しています。また、保護者の肯定的回答が増えています。ミラー効果（教師の姿勢が生徒に反映）の意味を意識し、教職員は「傾聴すること」を大切に、温かな言葉かけを増やしていきます。このことで生徒にとって相談しやすい学校を目指します。



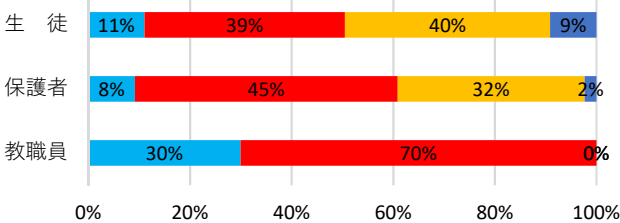
【No.10 いじめ防止対策】70%の生徒が「いじめを受けたりいじめを見たりしたらすぐに相談する」と肯定的に回答しています。定期的なアンケートやICT活用による心の健康観察等、学校は生徒の発するSOSを受信する態勢づくりに努めていますが、ご家庭においても生徒の様子についてお気づきのことがありましたら、連絡をお願いいたします。



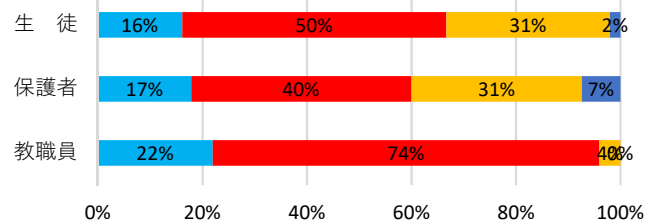
【No.11 生徒支援】90%の生徒が「間違っただ行動やトラブルの解決に向けた指導支援を素直に受け入れる」と肯定的に回答しています。約1割の生徒への指導支援を充実させる意味からも、全職員による共通理解・共通実践の基に、生徒の声にしっかりと耳を傾け、保護者の皆様との連携を大切にしながら教育活動の充実を図ってまいります。



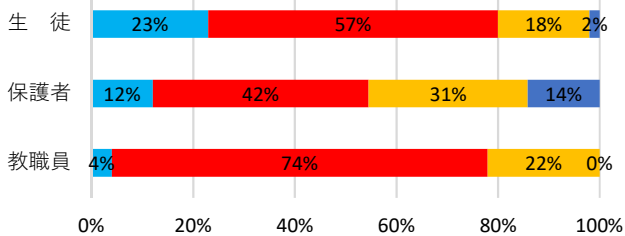
【No.12 学習指導】77%の生徒が「毎日の授業内容を理解している」と肯定的に回答し前回調査よりも向上しています。生徒の授業アンケートの結果からは、学習の見直しや振り返り、表現活動を取り入れた授業、タブレットを活用した授業ほど「分かりやすい」とする回答が得られました。生徒の「生きる力」の育成に向け、さらなる授業改善に努めます。



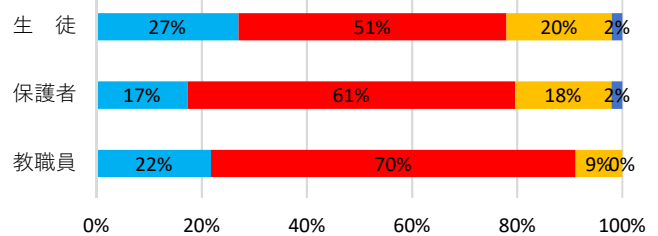
【No.13 学力向上】「授業中に進んで発表したり、他の解決方法を考えたりする」生徒の割合は、調査を重ねるごとに増加しています。知識や技能の習得のみならず習得した知識や技能を活用して、思考・表現できる生徒の育成に向け、ICT活用やキャリア教育との関連のもとに日常や社会と関連した課題の設定等の工夫に取り組んでいきます。



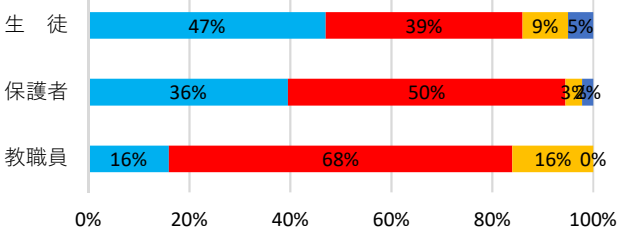
【No.14 家庭学習】66%の生徒が「家庭学習に取り組んでいる」と回答していますが、前回調査より微減の傾向です。学習内容を「学力」として定着させるために、家庭学習は重要です。即時採点、即時集計の機能を有し、教職員間の共有性に優れ、保存したデータを評価に生かしやすいQubenaによる問題も課しています。生徒への声かけをお願いします。



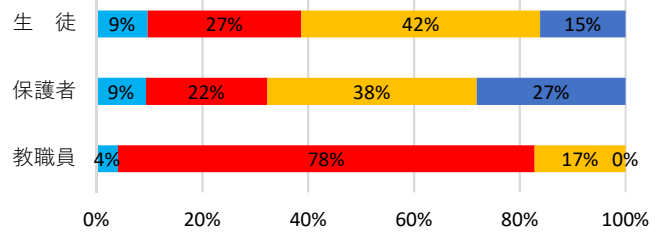
【No.15 労働意欲】80%の生徒が「清掃活動や家庭での手伝い」に進んで取り組んでいる」と肯定的に回答しています。学校では、根気強さや責任感を育てる労働意欲に係る指導はねらいを明確にし、意図的に行うことが大切であると考えています。「環境は人をつくる、その環境は人がつくる」の言葉もあります。さらなる充実を目指します。



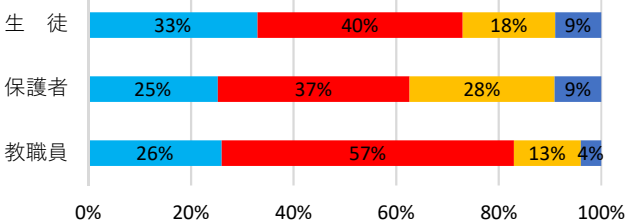
【No.16 感染症予防】78%の生徒が「ていねいな手洗いや定期的な換気に気をつけている」と肯定的に回答しています。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを受け、給食時のグループ会食を実施しています。インフルエンザ等の季節外れの流行もあることから、引き続き保健衛生面からの感染症予防を呼びかけていきます。



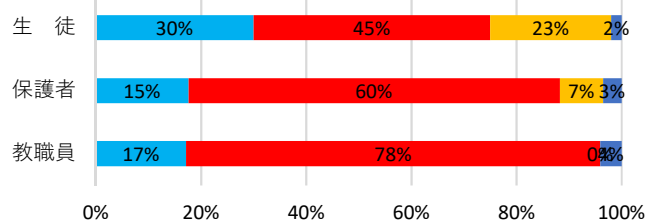
【No.17 部活動】86%の生徒が「計画的に部活動に取り組み、主体的に活動している」と肯定的に回答しています。学校では部活動運営方針に基づき、部活動数の適正化を図るとともに、複数顧問制による指導を進めます。また、地域移行に向け、部活動指導員や外部指導者との連携を図ります。保護者の皆様にはご理解・ご協力をお願いいたします。



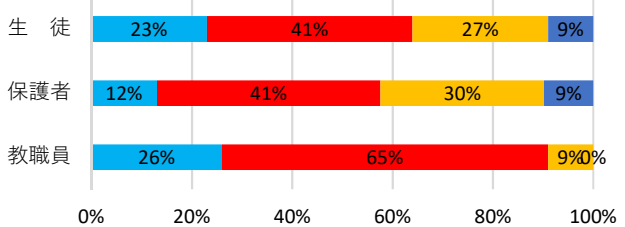
【No.18 読書活動】「進んで本を読み読書が習慣化されている」と回答した生徒は約36%で、読書の習慣化に課題があります。時間的余裕の少ない中学生期ですが、思考力や読解力等、読書により得られるものは大きいことを再確認し、リニューアルした図書室の積極的な活用を図っていきます。また、長期休業を有効に使ってほしいと思います。



【No.19 規則正しい生活】73%の生徒が「早寝・早起き・朝ご飯など規則正しい生活を意識して生活している」と肯定的に回答しています。規則正しい生活は、基本的生活習慣の定着を促進し、教育活動の充実につながります。長期休業期間中の生活習慣の安定化に向け、引き続き保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



【No.20 開かれた学校づくり】75%の生徒は「学校からの配付物を必ず家の人に見せている」と肯定的に回答しています。昨年度より保護者の肯定的回答が増加しています。学校では、保護者宛の連絡はit-service、たより等はスクリレ、生徒宛にはクラスルームを活用し、電子化を推進するとともに、校務の効率化を図っています。ご協力をお願いいたします。



【No.21 キャリア教育】64%の生徒が「将来の方向性について家の人と話し合っている」と回答していますが、そうでない生徒も多い現状です。学校では、総合的な学習の時間や学級活動において、将来の進路を考える時間を設け、具体的な情報を提供しています。ご質問等ありましたら、学年担当が教務部までお問い合わせください。

令和6年度第1回学校評価アンケートにご協力くださり、ありがとうございます。

多くの励ましのお言葉や貴重なご意見をいただきましたことに重ねて感謝申し上げます。

記述回答の中には、改善しなければならない点や丁寧な説明が必要である点を改めて確認することができました。昨年度調査と比べ、課題が感じられる項目を太枠にしております。

いただいた意見等は、今後の学校運営に生かしてまいります。なお、記述いただいた保護者の皆様には、取組の詳しい説明をさせていただきます。

